

今日のトピック 鉄鉱石価格・生産と豪経済・豪ドル

鉄鉱石価格は調整の可能性あるが、豪ドルはしっかり

ポイント1 鉄鉱石価格は堅調に推移
需給両面で好材料

- 19年の鉄鉱石価格は、堅調に推移しており、7月23日までの年初来で+65.9%上昇しました。
- 中国政府が進めるインフラ投資の拡大を受けて粗鋼生産が増加していることや、中国が必要とする高品質の鉄鉱石を産出するブラジルや豪州で鉱山ダムの決壊やサイクロンの襲来など供給減少につながる事象が発生したことが背景にあります。

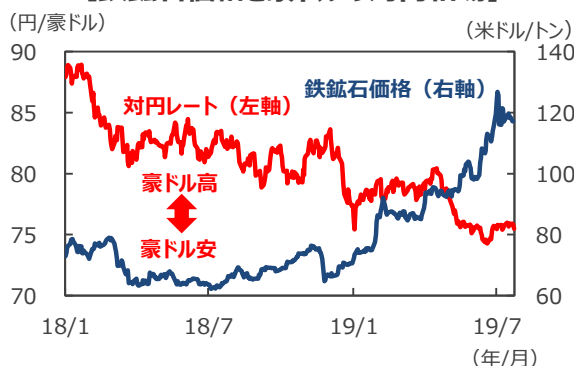
ポイント2 中国のインフラ投資は継続へ
供給面では価格調整の可能性

- 中国政府は減速が続く自国経済を支えるべく、景気対策として今後もインフラ投資を活用するとみられます。したがって、インフラ投資は伸びの継続が見込まれ、減少に転じる可能性は低いと思われます。
- 鉱山ダムの決壊やサイクロンの襲来といった供給面における好材料は永続的なものではないため、積み出しなど活動の正常化が進めば、鉄鉱石価格は調整する可能性があります。しかし、中国のインフラ投資需要が継続するとみられることから、大幅な調整は免れると考えられます。

今後の展開 鉄鉱石価格は調整の可能性
あるが、豪ドルはしっかり

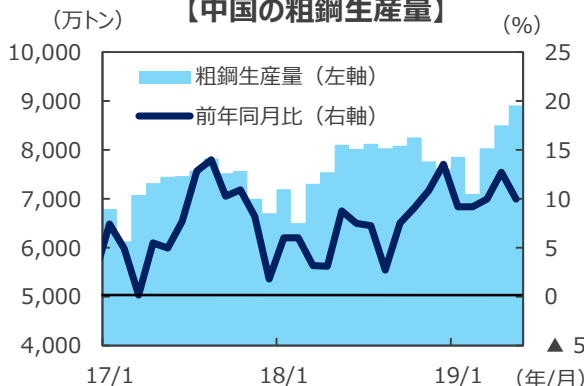
- 豪政府は18/19年度（18年7月～19年6月）の鉄鉱石生産が▲1.1%の減少に転じたとの見通しを示しましたが、19/20年度（19年7月～20年6月）には+1.5%増加すると予想しています。したがって、鉄鉱石生産の減少が豪州経済に及ぼす悪影響については、過度な懸念は不要と思われます。
- 鉄鉱石価格が調整すれば、豪ドル相場には下落圧力がかかる可能性があります。しかし、豪州準備銀行（RBA）の金融政策は当面、現状維持が予想されることや、所得税減税などの政策効果が発現が期待されること、米中の貿易協議は決裂を避ける方向で進められるとみられることなどから、総じて豪ドルはしっかりした展開が予想されます。

【鉄鉱石価格と豪ドルの対円相場】



(注) データは2018年1月2日～2019年7月24日。
鉄鉱石価格は2019年7月23日まで。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセット
マネジメント作成

【中国の粗鋼生産量】



(注) データは2017年1月～2019年5月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセット
マネジメント作成

ここも
チェック! 2019年7月18日 豪雇用統計：雇用者増が継続も、失業率は横ばい（2019年6月）
2019年7月12日 豪ドル為替相場は回復局面へ（2019年7月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。